

# GK情報レポート

【2014年発行】

vol. 41

夏号

発行者

権田金属工業株式会社 営業部

〒252-0212

神奈川県相模原市中央区宮下 1-1-16

電話 042-700-0221

FAX 042-700-0660

E-mail: eigyo@gondametal.co.jp

<http://www.gondametal.co.jp>

## Contents

1. 国際マグネシウム協会年次大会に参加して
2. 権田金属工業のマグネシウムの安全管理
3. 高機能金属展
4. 日本マグネシウム協会の協会賞を受賞しました
5. GK ギャラリー 『第117回 GK会』
6. 相場情報 『2014年第3四半期見通し』

皆様でご覧下さい。

回 覧 印										
-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※バックナンバー（Vol.1～40）用意しております。ご希望の方は当社営業部までお問い合わせ下さい

権田金属工業株式会社

## 1. 国際マグネシウム協会年次大会に参加して

ミュンヘンで行われた 2014 年の国際マグネシウム協会の年次大会に参加してきました。

今年は 6 月 1 日から 3 日までの 3 日間ミュンヘンで行われました。29 か国から 289 名の方が参加され、内日本からは 13 名です。

先ず 1 日の夜に BMW ミュージアムを借り切って前夜祭が行われ、ホテル Westin Grand Munich で 2 日、3 日の両日講演会と展示会、そして 3 日夜に晩餐会が行われました。



BMW コンセプトカー

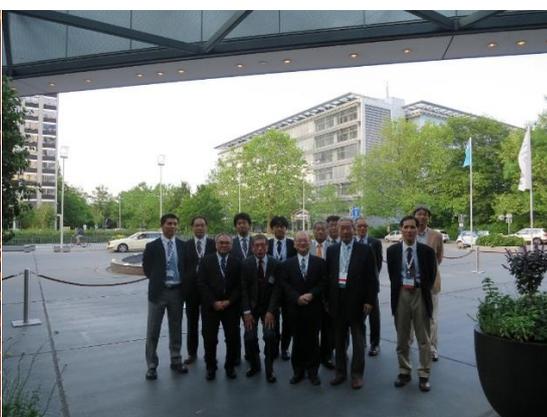


前夜祭会場

講演会では、精錬やリサイクルから始まって、合金開発、表面処理や将来の適用方法などさまざまな分野の話が行われました。その中で BMW、フォルクスワーゲン両社の自動車への適用とエアバス社の飛行機への適用の可能性が特に注目を集めました。マグネシウムの用途開発も進んでいると強く印象づけられる講演会でした。



講演会場



日本代表団一行

記者 権田源太郎

## 2. 権田金属工業のマグネシウムの安全管理

2014年5月13日東京都町田市の金属加工会社で死傷者が出るマグネシウム火災が発生しました。原因は工作機の配線をはんだ付けで直し電源を入れたところ、配線が逆になっていてため短絡し火花が工作機にたまっていたマグネシウム切粉に飛び引火したものでした。

マグネシウムは消防法上第二類の可燃性固体となります。ただしマグネシウムすべてが危険物になるわけではありません。消防法では2mmの目の網ふるいを通過する塊、直径が2mm未満の棒状のものが危険物とされており、加工切粉、リボン、研磨クズ等が危険物に該当します。

原材料であるインゴットや鋳造板、圧延板、研磨板に火花が当たったり、炎を近づけたからと言って即燃えるという事ではありません。リボン状や粉状のマグネシウムは燃焼し易いため加工時には切粉が大きくなる重切削が推奨され、こまめな掃除、空気中の水分との反応による自然発火の恐れがあるため、蓋付の容器での保管が求められています。

### 1. 現在の当社での安全管理体制（溶湯の管理）

溶湯が空気（酸素）に触れると燃焼しやすくなります。

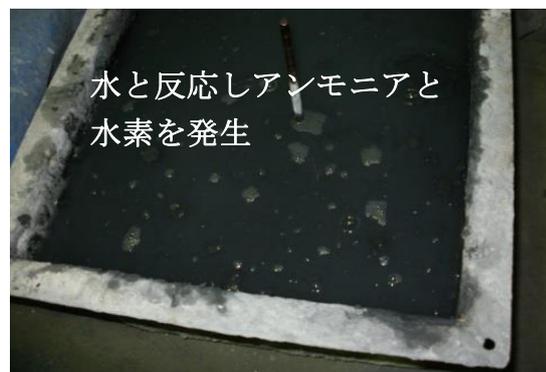
対策：空気を遮断（エキシールガスで炉内を満たす）

炉外に溶湯がこぼれた場合、酸素を遮断する必要がありますが以下のそれぞれの方法で対処できます。

- ①乾燥砂を掛ける。
- ②消化用フラックスを掛ける。
- ③金属用消火器を使用し消火する。

\*当社では上記全ての方法を工場内に備えています。

また炉内に投入するインゴット、治具は十分に乾燥させてから投入または使用しています。





金属用消火器



消火用乾燥砂

## 2. 研磨と研磨クズの処理手順

①研磨は湿式で実施しています。

②研磨クズは水中で養生し、水と反応させ燃焼しない状態にさせています。(マグネシウムが水酸化マグネシウムになります)。

③水と反応させた研磨クズは専用の缶に入れ保管しています。

④研磨クズを入れた缶の処分は専用の業者に依頼しています。

また試験片作製時に発生する切粉はこまめに掃除を行い蓋付容器にて保管しています。

当社では相模原市及び相模原市消防本部に届け出をしており、定期的に監査を受けております。

また従業員には日本マグネシウム協会主催のマグネシウム取扱い安全講習会を受講させています。

当社で取り扱っている不燃性マグネシウム板を使用した建材が、国土交通省にて不燃材の認定を受けております。当社ホームページに不燃性マグネシウム薄板の不燃性の実証ビデオをアップしていますのでご参考にしてください。

記者 櫻井



燃焼実験

## URL

<http://gondametal.co.jp>

[権田金属工業株式会社ホームページ](#)

<http://www.youtube.com/watch?v=AIsNucqit7Y&feature=youtu.be>

燃焼実験 動画

### 3. 「高機能金属展～メタルジャパン」に出展

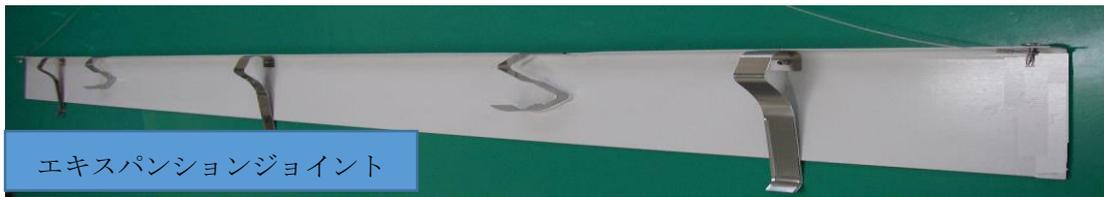
第一回「高機能金属展～メタルジャパン」が2014年4月16日(水)～18日(金)の3日間 にわたり、東京ビッグサイトで開催されました。この展示会は各業界関係者から「高機能な金属」に特化した展示会を開催してほしいとの要望を受けて初開催されたものです。最先端の金属材料や、その加工機械、分析・検査機器、リサイクル技術など高機能金属に関するあらゆる技術が出展する専門展です。同時開催されたファインテックジャパン、高機能プラスチック展、高機能フィルム展、光・レーザー技術展、合わせて出展社1,002社、来場者は3日間で5万7千人を数えました。



#### ① マグネシウム製品を出展

日本マグネシウム協会が協会員に参加を募り、7社での共同出展となりました。当社からは、昨年国土交通省の不燃認定を受けたマグネシウムを使用した建材/エキスパンションジョイント、ヒートシンクを初めとしたマグネシウム鍛造品、切削加工したマグネシウムのぐい飲み、携帯電話用筐体着色品などバリエーションに富んだサンプルを展示し、軽量化メリットだけにとどまらないマグネシウムの魅力の紹介をしました。当社のブースに立ち寄っていただいたお客様からは、不燃性、熱の拡散性、良好な切削性、高品質なメッキの光沢、陽極酸化処理の鮮やかな色取りといった軽量化にとどまらないマグネシウムの特徴に驚いていらっしゃいました。





エキスパンションジョイント

エキスパンションジョイントは、吊天井と壁の隙間を塞いで、室内の保温性ならびに、防音性を高めるとともに、地震などの振動を吸収し、吊天井の落下を防ぐ働きがあります。

## ② 伸銅製品を出展

伸銅品は高機能金属展に協賛している日本銅センターのブースに出展しました。当社を含めた伸銅メーカー7社と銅の抗菌性を利用した製品（キッチン用品など）を製造しているメーカー11社が各々独自性のある製品を展示しました。

当社は電車のモーターに使われている銅リング加工品、発電所などで使われる開閉器と高電圧流ケーブルのジョイント部分に使用される大電流用コネクタ、需要が高まっているカドミレス黄銅棒の太物切断品を展示しました。

現在引き合いが増えている加工品の良いPRの機会となりました。



会期中は多くの皆様にお越しいただき、盛況のうちに3日間の展示期間を終了することが出来ました。ブースにお越しいただいたお客様から頂戴したご意見、ご感想を今後のものづくりの参考にして、より良い製品の製造に役立たせたいと思います。

お忙しい中、たくさんのご来場、誠にありがとうございました。

記者 田中・日吉

## 4. 日本マグネシウム協会の協会賞を受賞しました

2014年6月16日に日本マグネシウム協会の総会が東京都内で開かれました。

総会に続いて、マグネシウムの普及に尽力した団体ならびに個人を対象にした表彰式が執り

行われました。

当社は協会が主催した学生マグネシウムデザインコンテストへの積極的な広報活動と試材提供を評価されて感謝状をいただきました。

また「マグネシウム合金圧延板の組成分析や組織観察による品質管理」を通じたマグネシウム産業への貢献を評価されて、当社マグネシウム部所属の伊藤友美が「協会奨励賞」を受賞し、表彰されました。この賞はマグネシウムの研究を通じて広く普及に貢献した若い研究者に贈られるものです。

伊藤は表彰に感謝しながら、これを機会によりいっそう精進したいと意気を感じていました。

記者 田中



代表取締役社長権田源太郎（向かって左から3人目）が感謝状をいただきました。

日本マグネシウム協会金澤武会長から奨励賞を授与されました。

## 5. GK ギャラリー 『第117回 GK会』

2014年5月22日（木）相模原ゴルフクラブにおいて第117回 GK会を開催しました。

GK会は当社のお取引様との情報交換や親睦を深める事を目的としたゴルフの会です。

前日が雨でしたので、お天気を心配しておりましたが、当日は朝から良く晴れ、気持ち良くスタート出来ました。

しかし午後になると天候が急変、関東一円で荒天となり、相模原・八王子エリアに雷警報が発令され、14番ホールまでで中止としました。変則ながら14番ホールまでのスコアで順位を決定しました。

優勝は、株式会社笹野マックスの笹野社長、第二位は千葉金属株式会社の平野社長、第三位

は片岡金属株式会社の片岡社長という結果でした。  
次回の GK 会は 2014 年秋に開催の予定です。

記者 日吉



## 6. 相場情報 『2014 年第 3 四半期見通し』

### 1. 電気銅建値推移

14 年 4 月・・・730 円スタート(4 月平均 731.4 円)

14 年 5 月・・・730 円スタート(5 月平均 748.8 円)

14 年 6 月・・・750 円スタート(6 月平均 740.4 円)

14 年 7 月・・・760 円スタート

### 2. LME 在庫状況及び需給状況

LME 指定倉庫在庫は昨年後半から減少し、今年初めは約 36 万 6,000 トン。その後も徐々に減少し 6 月初めには約 17 万トンと半減した。ただ、需要面では世界の銅消費の半分近くを占める中国の今年 1～3 月の GDP が前年同期比 7.4%増と、伸び率は 2 四半期連続で鈍化していることと、供給面では今後はペルー・カナダ・ザンビアなどの鉱山の供給量が増加すると見られ、ICSG(国際銅研究会)の予測では、2014 年度の世界全体での地金消費量は 2,142 万トンに対し、銅地金生産量は 2,206 万トンと供給過剰が予想される。

### 3. 為替の見通し

対ドルでは市場予想を上回る米国の4月雇用統計を受け、5月2日に103.02円/\$まで円安が進行したが、その後は米国の長期金利(10年国債利回り)の低下を受け徐々に軟化し、101円後半～102円/\$で推移している。ただ日本国内では、金融政策面や2013年度の経常収支で黒字が極限まで縮小している点からも、『円高にならない地合い』が固まりつつある状況であり、今後も円安・ドル高の展開が継続すると思われる。

一方、対ユーロではECB(欧州中央銀行)が6月5日に主要政策金利を0.25%から0.1%へ、下限金利をゼロからマイナス0.1%へ引き下げると発表。今後、量的緩和策や銀行の貸出し促進策が打ち出されると見られる。この発表直後には、138.70円/€近辺まで下落したものの、その後は発表前の水準まで回復している。今回のECBの利下げには、景気回復の為にユーロの水準を引き下げるといった目的があるが、今後劇的な政策が打ち出されない限り、ユーロの下落は限定的と見られる。

### 4. 相場の見通しと今後

供給面ではアフリカ諸国を中心とした銅鉱山生産が今後増大する見込みと、需要面では中国経済が成長のピークを過ぎた事などから、需給では供給過剰になると考えられ、銅相場としては下落していくと見られる。ただ当面は円安基調が続くと見られるので、国内銅建値としては今後緩やかに下落すると予測する。また、LMEが6,000\$/トンを下回ると生産コスト割れになる精錬も多いと見られており、この数値を下回るほどの下落はないと見られる。

短期予測(1M) LME \$6,900～7,300/トン 為替 100～104円/\$  
銅建値 730～800円/kg

長期予測(3M) LME \$6,800～7,400/トン 為替 101～104円/\$  
銅建値 730～810円/kg

記者 高橋

